



録画配信の  
2次元コード

**菅野 淳**  
創造

## コミュニティ・スクールで 「地域と共にある学校」を推進

**Q** 「コミュニティ・スクール」が市民権を得たのはここ5～6年。学校運営協議会を核とするこの仕組みは、学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって特色ある学校作りを進めていく使命を持つ。また、この仕組みのなかの1つ、地域学校協働活動（狭山市ではSCSC＝スクスクという通称で展開）とは、地域全体で児童・生徒の成長を支え、地域を創生するための活動のことを言う。今回はこれらの全容を探るとともに「もっと活性化を」という応援を含めての一般質問としたもの。

まず、学校運営協議会とは

**A** **学校教育部長** 地域の方が委員となり、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針の承認。学校運営、または教職員の任用について意見を言うなどの役割を持っている。

**Q** SCSCの活動事例は

**A** **生涯学習部長** 笹井小学校区では「笹井豊年足踊り」の伝統芸能をバザー等で地域住民に広め継承。堀兼小・中学校区では堀兼公民館の文化祭で「お化け屋敷」を作り、保護者も地域への関心を高める活動を。入間川中学校区では生徒の職業観の育成のため、さまざまな分野で働く社会人から直接話を聞く事業を展開。それぞれが学校と地域が連携して取り組んだ事業である。



地域と学校の連携・協働が鍵に



録画配信の  
2次元コード

**千葉 良秋**  
無所属

## みどりを友とし・地球にやさしい ・まち・さやまの実現に向けて!

◆温室効果ガス排出ゼロを目指して

**Q** ダイアプラン5市によるゼロカーボンシティ共同宣言が表明され、環境意識の高まりが促進されているが、背景と取り組みについて、本市の見解を求める

**A** **環境経済部長** 地球温暖化対策が喫緊の課題となる中、これまで培ってきた環境保全の取り組みを基盤として脱炭素社会の実現に向けた行動へと発展させる必要があるとの考えのもと、本市がダイアプラン5市に呼びかけ2050年までに温室効果ガス排出ゼロの実現を目指し共同宣言を表明したものである。

◆日本古来種の保護は自然環境を守る

**Q** 気候変動により、外来動植物の生息域拡大が懸念される。日本古来種の保護・生態系保全の取り組みをどのように行っているか

**A** **環境経済部長** 気候変動に伴う生態系への影響が顕在化していることは、本市においても重要な課題である。

アライグマの被害は市内全域に拡大しており箱わなによる捕獲を行うとともに市民への餌付け防止啓発を行っている。外来植物や昆虫についても除去や殺虫を行い継続的に環境保全に取り組んでいる。



その他のテーマ▶再生可能エネルギーの活用  
▶環境保全の人材育成